

運営事例のご紹介

施設概要

客室数	33室	52名収容
会議室	大会議室	180名収容
	中会議室	120名収容
	小会議室	20名収容
	和室大広間	100名収容
	和室中広間	50名収容
レストラン	和室小広間	20名収容
	洋食 201㎡	94席
	和食 115㎡	59席

某職員共済組合施設 ※組合員による運営

A運営会社 ※A運営会社との契約社員による運営

日本ビューホテル事業株式会社 ビューホテル正社員と契約社員及びパートによる運営

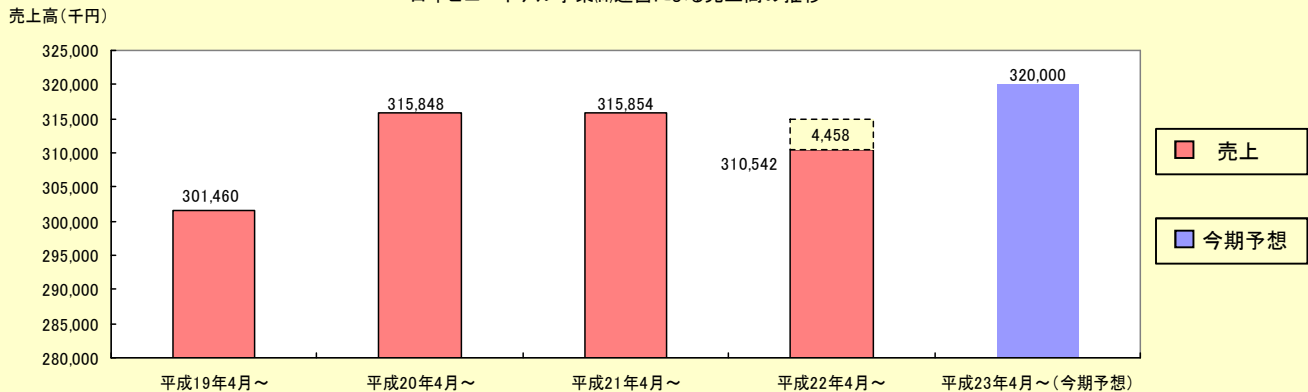
売上と営業利益の推移

単位:千円

事業年度	A運営会社			日本ビューホテル事業株運営			
	平成16年4月~	平成17年4月~	平成18年4月~	平成19年4月~	平成20年4月~	平成21年4月~	平成22年4月~
売上(税込)	302,209	296,559	285,756	301,460	315,848	315,854	310,542
委託料	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし
母体損益	マイナス	マイナス	マイナス	賃貸料収入 マイナス	賃貸料収入 マイナス	賃貸料収入 マイナス	賃貸料収入 マイナス

年間賃貸料収入でマイナス収支を圧縮(イメージ)

日本ビューホテル事業株運営による売上高の推移



日本ビューホテル事業株が運営受託を行った場合は・・・

Point1

A運営会社運営時は、運営母体が委託料を支出し業務運営していました。弊社が運営してからは運営受託となり、運営母体は委託料の支出がなくなりました。

Point2

日本ビューホテル事業株の契約は運営受託であり、営業利益の有無にかかわらず現状は年間賃貸料をお支払しております。また、販売促進に長けている独自のノウハウで売り上げを今以上に上げる事が可のと考えております。

Point3

収益に関しては、ビューホテルズの手法を駆使し人件費の削減(一人二役・三役)・原価の低減(仕入コストの見直し)、業務費の徹底した見直しを進めることにより、全体経費の削減を行う事が可能です。その結果収益の大幅な改善が見込めます。